

東村山ものしりシート

5

平成29年1月発行



市公式キャラクター
ひがっしー

とりっぴがしむらやまちゅうおうこうえん 都立東村山中央公園 - 2 むかしは？

むかしは…

現在、都立東村山中央公園がある場所は、むかしは通商産業省（今の経済産業省）の工業技術院機械技術研究所東村山分室でした。そこには日本で初めての自動車の耐久試験を行う試験場と専用道路があり、東側と西側には自然林を残した施設でした。

昭和54年（1979年）に筑波学園研究都市に研究所が移転することになりました。それを知った東村山市民が中心となって「東村山緑を守る市民の会」ができ、市議会に請願書を出しました。その請願書の内容は、このまま東村山市の人口が増えてしまうと生活環境が悪化してしまうので、この場所の自然を残して東村山市民のために憩いの場として確保してほしいという内容でした。

「東村山緑を守る市民の会」と東村山市、東村山市議会などが協力して国や東京都へ要望したことによって、その跡地に東村山中央公園、都立東村山西高等学校、富士見小学校、富士見文化センターなどができました。

緑の祭典

中央公園が完成した翌年の平成2年（1990年）には第1回東村山緑の祭典が開催され、その後、毎年4月に中央公園で緑の祭典が行われています。平成28年（2016年）4月に中央公園で開催された「春の緑の祭典」では桜の苗木の無料配布や野菜、植木、花の販売、交通安全キャンペーンや火災予防キャンペーンなどが行われました。

昭和49年（1974年）には
3万5000名
昭和52年（1977年）には
約4万5500名の署名が
集まったよ！



さんこうにしたもの

213.65ヒ2 『東村山市史 2』

市報ひがしむらやま 昭和63年6月1日号

東村山市ホームページ